至誠館大学

科目名	体育史(体育・スポーツ史)		コード	
英語表記	History of Sport & School Physical Education			
担当教員名	國木孝治		年度	平成28年度
基準年次	3年次	開講期	前期	単位数
授業形態	講義・演習	授業形式		履修形態
				2
				選択
授業概要				
<p>歴史を学ぶとはどういうことか。いまなぜ歴史を学ぶのか。本授業では第1に、歴史を学習する意義を理解したうえで、体育・スポーツの発生から現代までの歴史を通時的に学ぶこと。第2に、日本の体育・スポーツはどのような特質を持ち、どのような歴史の意味をもってきたのかについて、体育科教育の歴史や部活動の歴史の変遷を学んだうえで、未来の体育・スポーツの在り方について展望する能力を養うことを目的としている。授業の展開方法については、前半は講義形式で実施するが、後半(第10-15回)は、小グループによるディスカッション並びに研究発表を行う形式で展開する。</p>				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの歴史を先史時代から通時的に捉え、その国や時代の社会との連関を認識、理解を深めることができる。 ・我が国における体育、身体教育思想の歴史について、理解することができる。 ・体育・スポーツ史を学ぶことにより、未来の体育・スポーツの在り方について展望する能力を身に付けることができる。 				
授業計画				
第1回	ガイダンス。オリエンテーション: 体育・スポーツ史を学ぶ意義			
第2回	体育・スポーツ史研究の略史と時代区分。スポーツ文化について			
第3回	スポーツの起源: 遊びと闘争。儀礼とスポーツ			
第4回	世界のスポーツ史①: 未開社会のスポーツ。古代ギリシャ・ローマのスポーツ			
第5回	世界のスポーツ史②: 欧州中世のスポーツ。スポーツによる教育			
第6回	世界のスポーツ史③: 近代スポーツの誕生: 近代スポーツの伝播と大衆化			
第7回	世界のスポーツ史④: 近代スポーツの発展: 近代スポーツの高度化			
第8回	我が国における体育とスポーツの歴史①: 明治時代以前(主に武道史を概観) ※ 校外演習			
第9回	我が国における体育とスポーツの歴史②: 明治時代以降(“身体之教育”から“体育”へ)			
第10回	我が国における体育とスポーツの歴史③: 戦後の学校体育(スポーツの導入、教育的要素)			
第11回	各種スポーツ競技の歴史①: 競技の歴史 ※ 小グループによるディスカッション(資料の収集)			
第12回	各種スポーツ競技の歴史②: 道具の歴史 ※ 小グループによるディスカッション(資料の収集)			
第13回	各種スポーツ競技の歴史③: 記録の歴史 ※ 小グループによるディスカッション(資料の収集)			
第14回	各種スポーツ競技の歴史④: 発表 ※ 小グループによるプレゼンテーション			
第15回	現代スポーツに求められるもの: スポーツの受容、スポーツ政策 / 授業総括			
評価方法と基準		評価項目と割合		
授業出席状況、授業態度・意欲、グループディスカッション及び研究発表の成果、各授業毎に実施するレポートの内容等を合わせ、総合的に評価する。		授業態度	期末試験	レポート
				その他
授業外学習		テキスト、教材		
第8回目の授業は、旧明倫館跡(現萩市立明倫小学校)を訪ね、旧萩藩時代の水練や古式泳法の歴史について学ぶ。		適宜配布		
参考書		受講生へのメッセージ		
荒井博・榊原浩晃編(2012)スポーツの歴史と文化、道徳書院:東京。 木村吉次編(2010)体育・スポーツ史概論(改訂2版)、市村出版:東京。 稲垣正浩・谷釜了正編(1995)スポーツ史講義、大修館書店:東京。				
キーワード				
・歴史学 ・体育史 ・スポーツ史 ・萩藩史				